

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	ウイングス京都開館20周年記念事業		
予算額	1,500千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	共同参画社会推進部男女共同参画推進課 (222-3091)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>京都市では、男女があらゆる分野に共同して参画する社会の実現を目指し、女性の自立と社会参加を促進するための拠点施設として、平成6年4月に京都市男女共同参画センター（ウイングス京都）を開設し、これまでに男女共同参画に関する活動のための施設の提供はもとより、男女共同参画に関する相談業務の実施や講座・研修等の開催など、様々な取組を実施している。</p> <p>平成26年度は、ウイングス京都開館20周年を迎えるに当たり、記念事業を実施し、本市における男女共同参画の更なる推進に向けた契機とする。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>多様性（ダイバーシティ）や仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）の観点から「女性が活躍できる社会の実現」をテーマに秋頃にシンポジウムを開催するとともに、併せて京都の企業で活躍する女性を招いてパネルディスカッションを実施する。</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	婚活支援事業の拡充		
予 算 額	<p style="text-align: center;">8,500千円</p> <p>（政策枠 5,000千円 局配分 3,500千円）</p>	<p style="text-align: center;">新規・継続の別</p> <p>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</p>	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>政策的新規充実予算枠・局配分枠</p>
担 当 課	共同参画社会推進部勤労福祉青少年課（222-3222）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 本市においては未婚率、平均初婚年齢がともに全国平均を上回る状況にあり、これに伴う少子化が大きな問題となっている。 こうした状況を踏まえ、結婚を望む市民に、出会いと交流の場を設けるための支援策として、平成22年度から京都商工会議所青年部と共催で「京都婚活」を実施し、平成24年度からは事業委託の婚活支援事業にも取り組んでいる。 こうした取組と併せ、平成26年度から、仕事と家庭、社会貢献が調和できる「真のワーク・ライフ・バランス戦略」の更なる推進のため、共に人生を歩むパートナーとのつながりを築く契機を拡大させる婚活支援事業を以下のとおり拡充する。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>1 新規・充実事業</p> <p>(1) <u>市民力を生かしたNPO法人等が実施する婚活イベントや婚活セミナー等に対し、事業費補助を行う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業対象：<u>NPO法人や非営利の団体</u> ・ 補助金額：<u>1事業当たり事業費総額の2分の1以内で、500千円を上限とする。</u> ・ 事業費補助を行う婚活イベント等については、<u>本市施設を活用した事業や本市の施策の推進に寄与する事業等を補助対象とする</u>方向で検討を進める。 例 二条城、美術館、京都コンサートホール、西京極総合運動公園 等 <p>(2) <u>本市における結婚に関する実情や課題の共通理解を深め、今後の政策展開等について、市民と共に考えるシンポジウムを開催する。</u></p> <p>(3) <u>婚活支援事業に係る情報発信のためのホームページを開設する。</u></p> <p>2 継続事業</p> <p>京都商工会議所青年部と共催で実施している「京都婚活」及び事業委託の婚活支援事業については継続実施</p>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実																																
予 算 額	257,950千円	新規・継続の別	継続																														
	（政策枠 10,000千円 局配分 247,950千円）	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠・局配分枠																														
担 当 課	地域自治推進室（222-3048）																																
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区長・担当区長を先頭に、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、地域主権時代にふさわしい、「区民の提案（*1）」と「共に汗する共汗型（*2）」のまちづくりを支援する新たな予算システム「京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり『区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算』」を平成24年度に創設した。</p> <p>平成24年度の実績を踏まえ、平成25年度の予算枠を拡充し、区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進してきた。</p>																																	
<p>*1 区民提案型支援事業</p> <p>区基本計画に掲げる区のビジョンの実現に向けて区民が自発的、自主的に企画、運営する事業を募集し、審査会の選考を経て採択し、経費の一部を補助する「区民提案型支援事業」を各区において実施。</p> <p>*2 共汗型事業</p> <p>区基本計画の実現や地域課題の解決に向けて、幅広い区民が参画する区民まちづくり会議における議論等を踏まえ、区民と各区役所が共汗して取り組む区民ぐるみの事業を「共汗型事業」として実施。</p>																																	
<p>【事業概要】 *各区における具体的な事業については、各区作成資料のとおり</p> <p>平成26年度は、「区民提案型支援事業」の予算を1億円規模とし、区民が自ら取り組む地域のまちづくりに対する支援を更に拡充することにより、地域力の強化をより一層推進する。また、平成25年度から「だいすきっ！京都。寄付金」の応援メニューに「地域振興」を追加して各区への寄付を募っており、平成26年度予算においては、寄付金を当予算の財源として活用することにより、事業の充実を図る。</p>																																	
<p>○ 各区予算額（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>配分額</th> <th></th> <th>配分額</th> <th></th> <th>配分額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北 区</td> <td>18,825</td> <td>東山区</td> <td>13,820</td> <td>右京区</td> <td>29,980</td> </tr> <tr> <td>上京区</td> <td>15,960</td> <td>山科区</td> <td>30,615</td> <td>西京区</td> <td>25,550</td> </tr> <tr> <td>左京区</td> <td>22,640</td> <td>下京区</td> <td>18,420</td> <td>伏見区</td> <td>42,765</td> </tr> <tr> <td>中京区</td> <td>17,425</td> <td>南 区</td> <td>21,950</td> <td>合 計</td> <td>257,950</td> </tr> </tbody> </table>					配分額		配分額		配分額	北 区	18,825	東山区	13,820	右京区	29,980	上京区	15,960	山科区	30,615	西京区	25,550	左京区	22,640	下京区	18,420	伏見区	42,765	中京区	17,425	南 区	21,950	合 計	257,950
	配分額		配分額		配分額																												
北 区	18,825	東山区	13,820	右京区	29,980																												
上京区	15,960	山科区	30,615	西京区	25,550																												
左京区	22,640	下京区	18,420	伏見区	42,765																												
中京区	17,425	南 区	21,950	合 計	257,950																												
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>																																	

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市交通安全基本条例の推進及び京都市自転車安心安全条例の充実		
予 算 額	10,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民生活部くらし安全推進課(222-3193)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 平成24年4月に立て続けに発生した本市祇園地区及び亀岡市での交通事故を受けて、平成25年5月市会にて議員提案により「京都市交通安全基本条例」が制定され、同年7月1日から施行した。 また、平成22年12月に施行した「京都市自転車安心安全条例」についても、本市において条例に基づいた施策を実施している。 これらの状況を踏まえ、高齢者や自転車利用者に対する交通安全啓発、飲酒運転等の防止対策等の推進及び充実を図る。</p> <p>[事業概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都市交通安全基本条例の周知・広報 京都市交通安全基本条例制定の経緯を含めた同条例の周知・広報を通じて交通安全意識の啓発を行う。 2 運転免許の自主返納支援 京都府警察をはじめとする関係機関と連携して、交通死亡事故の約半数を占める65歳以上の高齢者の交通事故防止対策として「運転免許自主返納支援」制度を創設する。 3 自動車教習所を活用した自転車講習の実施 喫緊の社会問題となっている自転車の安全対策を一層推進するため、「自動車教習所を活用した自転車講習」を実施する。 4 スケアード・ストレイト方式による交通安全教室の拡大 京都市自転車安心安全条例の制定を契機として、平成23年度から、主に中学・高校において実施しているスケアード・ストレイト方式による交通安全教室の開催の規模を拡大する。 			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)] 交通安全の確保に向けた本市の姿勢を明確に示すとともに、京都府警察をはじめとする関係機関や交通安全に取り組むボランティア等との協働をより強力に推進することにより、市民ぐるみの取組として交通事故のない安心・安全なまちづくりに寄与する。</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「たばこマナー向上活動団体」制度等のマナー啓発の推進		
予算額	3,500千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	市民生活部くらし安全推進課(222-3193)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 現在、「京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例」に基づき「路上喫煙等禁止区域」を指定し、「市内中心部」，「京都駅地域」及び「清水・祇園地域」を路上喫煙等監視指導員が巡回し，違反者に対しては1千円の過料を徴収している。 同条例では，市民等に市内全域において路上喫煙をしないよう努力義務を課しており，「市内全域で路上喫煙等はいけない。」との認識を更に浸透させるため，市民や事業者等による喫煙マナーの向上を図るための自主的な活動を支援する「たばこマナー向上活動団体」制度を平成24年度に創設した。現在，本市内の3団体においてモデル実施を行っている。</p> <p>〔事業概要〕 平成26年度は，これまでのモデル実施における取組を踏まえ，「たばこマナー向上活動団体」制度の本格実施を行い，引き続き，啓発物品の支給や啓発活動に職員を派遣するとともに，新たに維持管理費を助成することで，喫煙場所の設置を支援する。 さらに，全市的な課題となっている路上でのマナーの浸透を図るため，当該制度を活用し，①違法駐車防止，②自転車利用者の交通ルールやマナー，③最近増加している，歩きながらスマートフォン（多機能携帯電話をいう。）を操作する，いわゆる「歩きスマホ」に係るマナーなどの啓発のための支援も併せて行うことにより，団体の自主的な地域活動を促進する。</p>			
<p>〔参考（他都市の状況・事業効果など）〕 団体の実情に応じた効果的な啓発活動を可能とし，市民等のより一層の安心で安全な生活の確保に対する意識の向上を図る。</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都文化芸術プログラム2020(仮称)の策定及びリーディング・プロジェクトの実施		
予算額	50,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	文化芸術都市推進室文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>平成32年(2020年)東京オリンピック・パラリンピックの開催に加え、平成31年のラグビー・ワールドカップ、平成33年のワールドマスターズゲームズと併せて、日本では、平成31年～33年の3年間に、世界的なスポーツイベントが集中的に開催されることになる。</p> <p>こうした機会を捉え、日本を代表する文化芸術都市であり、国際観光都市である京都市として、日本文化の神髄である京都の文化芸術を次の世代にしっかりと継承するとともに、その魅力を国内外へ伝えるため、「京都文化芸術プログラム2020(仮称)」を策定する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>1 京都文化芸術プログラム2020(仮称)の策定</p> <p>市民参加によるワークショップ「京都文化芸術会議2020(仮称)」等を通じて、学校教育を通じた伝統文化に触れる機会の創出などについて検討するなど、議論を深め、平成27年1月頃を目途に策定し、京都が自身の文化を改めて見つめ直し、国内外から京都を訪れる方をおもてなしする。一部の事業については、26年度中にリーディング・プロジェクトとして着手する。</p> <p>2 リーディング・プロジェクトとして想定する事業</p> <p>(1) 未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、京都の魅力を発信するため、世界文化遺産「古都京都の文化財」登録20周年の節目を迎えることを契機に、平成26年度～31年度(オリンピック・パラリンピックの開催前年)の6箇年計画により、市指定・登録文化財建造物等を対象として、一般公開に向けた修理を集中的に行う。</p> <p>(2) 伝統文化体験の日(仮称)</p> <p>大学生などの若者を対象として、茶道、華道など伝統文化の体験ができる1,000人規模の事業を実施し、伝統文化に触れる機会を提供する。また、伝統産業の活性化にも資する取組とする。</p> <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都会館再整備事業(オープニング事業等)		
予算額	15,600千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	文化芸術都市推進室文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>ロームシアター京都(京都会館)は、平成28年1月の開館を目指し、現在、再整備に取り組んでいるところであり、開館後、新たに生まれ変わった劇場の再出発を多くの市民やアーティストの方々と共に祝うため、平成28年は約1年間にわたり、オープニング事業の実施を予定している。</p> <p>また、開館に先立ち、平成26年度、27年度には、オープニング・プレ事業として、市民の皆様がオープニング事業をより楽しんでいただける公演、イベント等を実施する予定である。</p> <p>オープニング・プレ事業及びオープニング事業のコンセプトや内容については、平成25年7月に「ロームシアター京都オープニング事業検討委員会」を設置し、世界を代表する指揮者である小澤征爾委員長をはじめ、京舞井上流家元の井上八千代委員、京都市立芸術大学学長の建畠哲委員など、舞台芸術の実演家や有識者の方々に検討を進めていただいているところである。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>平成26年度は、主要なオープニング・プレ事業及びオープニング事業を決定し、夏頃に国内外に周知する予定である。</p> <p>また、オープニング・プレ事業の第一弾として「小澤征爾音楽塾 子どものためのオペラ」を開催するとともに、オープニング事業等の実施に向け準備を進める。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	琳派四〇〇年記念事業の実施		
予算額	10,300千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	文化芸術都市推進室文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>琳派[*]は、現代にあっても文化芸術に刺激を与え、伝統産業に息づき、生活と共に存在する。</p> <p>平成27年(2015年)は、本阿弥光悦が徳川家康から鷹峯の土地を拝領した元和元年(1615年)から400年目に当たり、いわば「琳派400年」というべき記念すべき年になる。</p> <p>この記念すべき年に向け、京都を挙げて、文化芸術と産業等のエネルギーを結集することにより、京都のまち全体の活性化を目指す。</p> <p>※ 桃山時代後期から近代まで活躍した造形芸術上の流派。本阿弥光悦や俵屋宗達が創始し、尾形光琳・乾山兄弟が発展させた。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 京都芸術センターにおける事業の実施</p> <p>琳派における空間構成の極意を探るべく、「間」が重要な役割を果たし、そこから新たな美意識を提案する、現代美術作品を展示する。</p> <p>2 京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENTにおける事業の実施</p> <p>琳派の豊かな装飾性によるダイナミズムを現代の視点で捉え直すとともに、身体表現との対比でその特徴を浮かび上がらせるため、新作を制作する。</p> <p>3 オープニング事業の実施</p> <p>琳派400年記念事業の開始(平成27年1月)を記念し、フォーラム等を開催する。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都国際映画祭		
予算額	5,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	文化芸術都市推進室文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 本市はこれまで、「京都映画祭」を通じて、京都が持つ映画・映像資源を活用しながら「映画都市・京都」を世界に広く発信しており、平成24年度に開催した「第8回京都映画祭」終了後は、若手製作者支援に軸足を置き、平成25年度には「京都映像フォーラム」で具体的な取組に向けて検討を行ってきた。 平成26年度以降は民間企業が主体となって、「京都映画祭」の理念と成果を引き継ぎ、<u>国際映画祭（名称：京都国際映画祭）を開催することとなったことを受け、同映画祭と連携して若手製作者支援事業を進める。</u></p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 開催時期 平成26年秋季</p> <p>2 主催者 京都国際映画祭実行委員会（仮称）</p> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都クラシック部門（京都で製作された作品上映） ・ 招待作品上映 ・ 牧野省三賞等の顕彰事業 ・ 若手支援事業 ・ クリエイターズ・ファクトリー（若手作品のコンペティション） ・ アート作品展示 ・ その他特集プログラム <p>※ 企画の詳細については、平成26年度に行われる委員会等で検討されるため、変更される可能性がある。</p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）] 本映画祭の企画・運営に携わる吉本興業株式会社は、平成26年で6回目となる「沖縄国際映画祭」*を主催している。 ※ 毎年3月に開催</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都国際現代芸術祭の開催		
予算額	220,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	文化芸術都市推進室文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>近年，都市に新たな活力を生み出す仕組みとして，最新の美術と文化の動向を伝える大規模な国際展が注目されている。文化芸術都市・京都において，このような美術展が開催されることが長年切望されており，平成23年には，京都経済同友会から大規模な国際展の開催について提唱がなされた。</p> <p><経過></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月 京都経済同友会の提唱を受け，同友会・京都府・京都市の3者で名称，組織，事業規模等について検討するため，研究会を設置 平成24年5月～9月 研究会を開催（計3回） 平成25年2月 アーティスティック・ディレクターを選考 平成25年5月 京都国際現代芸術祭組織委員会を設置 平成26年2月 プレイベント・ウィリアムケンブリッジ作品展「時間の抵抗」を開催（予定） <p>[事業概要]</p> <p>1 京都国際現代芸術祭の開催（平成27年3月上旬～5月上旬）</p> <p>京都市美術館を主会場とし，世界の現代美術と先鋭的な文化活動の現状を紹介する大規模な国際芸術祭として，「PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015」を開催する。</p> <p>2 京都国際現代芸術祭プレイベントの実施</p> <p>平成26年度は，プレイベントとして，オープンリサーチプログラム[※]等を実施する予定である。</p> <p>※ オープンリサーチプログラムとは，アーティスティック・ディレクターが行う調査研究のプロセスを広く一般に公開し，共有するためのプログラムのことをいう。</p>			
<p>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <p>都市部における現代美術の大規模国際展は，横浜市，愛知県等で開催されている。</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局, 産業観光局

事務事業名	祇園祭後祭復興支援		
予算額	21,800千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	文化芸術都市推進室文化財保護課(366-1498) 観光MICE推進室(222-4130)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>公益財団法人祇園祭山鉾連合会（以下「連合会」という。）では、祇園祭山鉾巡行について、昭和41年から前祭と後祭の合同巡行を実施してきたが、平成26年7月から、前祭と後祭に分かれていた従前の形に戻ることが決定している。</p> <p>祇園祭については、戦後の山鉾巡行の経路変更や合同巡行をはじめ、現在も市役所におけるくじ取り式や、市長によるくじ改めなど京都市が深く関わっている。</p> <p>また、祭礼形態が本来の形に戻ることで、祇園祭山鉾行事の魅力を外に発信するよい機会となるとともに、新たな魅力に応じた観光客の誘致につながるため、後祭復興について全面的に支援するものである。</p> <p>※ 「京都祇園祭の山鉾行事」は、国の重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産であり、山鉾は国の重要有形民俗文化財でもある。</p> <p>[事業概要]</p> <p>後祭の復興に伴う円滑かつ安全な巡行等の実現のため、自主警備や観覧者対応、広報、その他の事項について、公益財団法人祇園祭山鉾連合会を支援する。</p> <p>併せて、本市と連合会の共同事業として巡行のシミュレーションや実際の巡行における問題点等の検証を行う調査を実施する。</p> <p>また、現在、大船鉾の復原展示を行っている無形文化遺産展示室（京都ヨドバシビル1階北東角）の展示替作業を実施する。</p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	世界遺産「古都京都の文化財」登録20周年記念事業		
予 算 額	8,400千円	新規・継続の別	新規
	〔政策枠 6,900千円 局配分 1,500千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠・局配分枠
担 当 課	文化芸術都市推進室文化財保護課(366-1498)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 平成6年12月に世界遺産登録された「古都京都の文化財（京都市・宇治市・大津市）」が、平成26年度に登録20周年を迎えるに際し、世界遺産に登録されている17社寺城及びこれらと同等の価値を有する京都の数多くの文化遺産を人類の財産として未来へ引き継ぐため、京都府等の関係自治体、明日の京都文化遺産プラットフォーム、「世界文化遺産」地域連携会議と連携し、記念事業を実施する。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>1 世界遺産「古都京都の文化財」登録20周年事業 世界遺産を保有する府、宇治市と実行委員会を立ち上げ、式典やシンポジウムなどの記念事業を実施。</p> <p>2 明日の京都文化遺産プラットフォーム20周年記念事業 京都の文化、経済、大学、宗教、行政等の団体が参画している「明日の京都文化遺産プラットフォーム」と連携して記念事業を実施。</p> <p>3 「世界文化遺産」地域連携会議との連携事業等 京都市内での開催が予定されている「世界文化遺産」地域連携会議総会（国内13の世界文化遺産の関係者で構成する会議：会長 門川大作 京都市長）に併せ、20周年記念事業を実施。</p>			
<p>(参考) 〔古都京都の文化財〕 賀茂別雷神社（上賀茂神社）、賀茂御祖神社（下鴨神社）、教王護国寺（東寺）、清水寺、延暦寺、醍醐寺、仁和寺、平等院、宇治上神社、高山寺、西芳寺（苔寺）、天龍寺、鹿苑寺、慈照寺、龍安寺、本願寺、二条城</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	“京都を彩る建物や庭園”制度 ランクアップ助成		
予 算 額	3,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室文化財保護課(366-1498)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成23年11月に“京都を彩る建物や庭園”制度を創設し、これまで市民から推薦のあった175件を「選定」、うち、特にその価値が高いと認められる建物や庭園について、37件を「認定」している。これらの建物や庭園の中には、あとわずかな要件が満たされないため、「国登録有形文化財」や「景観重要建造物」の指定に至らない物件が数多く存在する。</p> <p>そのような建物や庭園の所有者においては、今後も維持保全を図っていきたいという思いがあるものの、資金的な理由で、本格的な改修に踏み出すことができず、建物の取り壊しや庭園の売却を選択するケースが見受けられる。</p> <p>【事業概要】</p> <p>歴史的資産の維持・継承につなげるため、「国登録有形文化財」、「景観重要建造物」をはじめとした文化財や景観関連制度での指定等を目指して改修する“京都を彩る建物や庭園”認定物件を対象として、修景又は修復に必要な事業費の一部を助成する。</p> <p>1 助 成 対 象：「認定」物件のうち、文化財や景観関連制度で指定等を受けていないもの</p> <p>2 対象候補件数：20件（平成26年1月31日現在）</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市の文化的景観推進事業(「京都岡崎」,「北山杉の林業景観」の文化的景観推進事業)		
予 算 額	2,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	文化芸術都市推進室文化財保護課(366-1498)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>文化庁との連携のもと、都市型の文化的景観として岡崎地区を対象に、平成22年度から国の重要文化的景観選定に向けた調査を実施してきた。この結果を踏まえ、平成26年6月に文化庁に対し、国の重要文化的景観への選定のための申出を行う予定である。</p> <p>また、新たに、<u>北区中川地区を中心とした北山杉の林業景観について、選定のための申出に向け、その歴史的変遷や景観構成要素等の調査、保存計画の策定を行う。</u></p> <p>※ 文化的景観とは、文化財保護法では「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」と規定され、国は、都道府県又は市町村の申出に基づき、景観法に定める景観計画区域又は景観地区にある文化的景観のうち、文化財としての価値に照らし、特に重要なものを「重要文化的景観」として選定している。</p> <p>[事業概要]</p> <p>1 京都岡崎の文化的景観の普及啓発事業 京都岡崎の文化的景観の重要文化的景観への選定申出に伴い、引き続き保存計画の調整や今後の整備に関する検討を行うとともに、普及啓発事業を実施する。</p> <p>2 北山杉の林業景観（仮称）の重要文化的景観選定推進事業 育林技術の詳細調査を行うとともに、保存管理計画の策定の検討を始める。</p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）] 全国で38件の重要文化的景観が選定されている。（平成25年11月1日現在）</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市美術館再整備事業		
予算額	120,300千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	美術館総務課（771－4107） 文化芸術都市推進室文化芸術企画課(366－0033)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>京都市美術館は、昭和8年に、京都の経済界はもとより、多くの市民の皆様の協力を得て開設され、平成25年に、開館80周年を迎えた。開館以来、京都画壇の作家をはじめとする3,000点を超える作品を収蔵するとともに、各時代における重要な展覧会を数多く開催するなど、日本の美術・文化振興に大きな役割を果たしてきた。</p> <p>しかしながら、美術館を取り巻く状況は時代と共に変化しており、常に新しいニーズに応じた展覧会の開催や入館者サービスの向上などが強く求められているほか、建物・設備両面での老朽化をはじめ、展示環境における課題も指摘されており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。</p> <p>こうした現状を踏まえ、京都市美術館が今後とも、国内外を問わず多くの人々を魅了し、世界に誇れる美術館となるよう、求められる役割や目指すべき美術館像を明らかにするとともに、時代の変化に適応した機能・施設の充実等について検討を行っており、平成25年度中に「京都市美術館将来構想」を策定する予定である。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>平成26年度は、<u>将来構想の具体化について検討を行うとともに、整備基本計画の策定、埋蔵文化財の発掘調査等を実施する。</u></p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

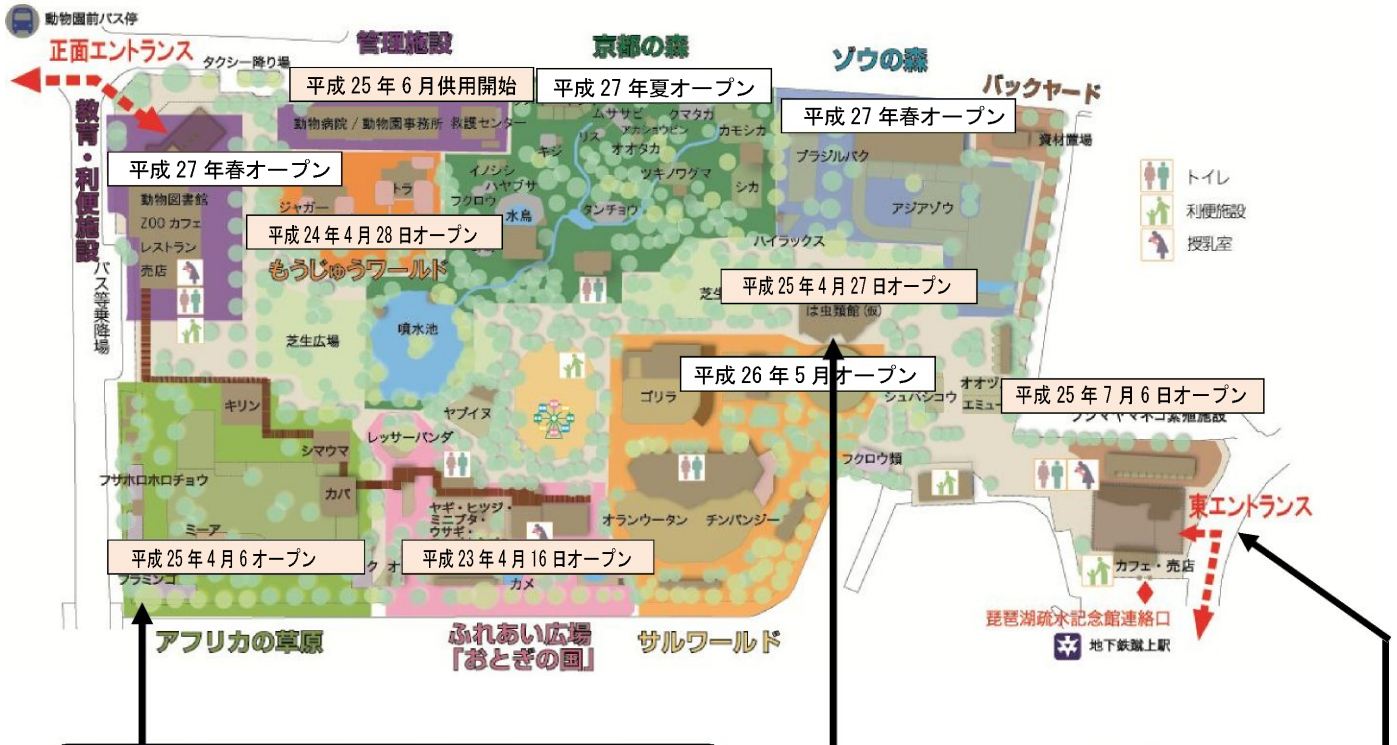
平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	新「京都市動物園構想」の推進		
予算額	1,503,500千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	動物園 (771-0210)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>京都市動物園は、明治36（1903）年4月、東京の上野動物園に次いで我が国で2番目に開園した動物園で、これまでから、来園者が気軽に動物達と触れ合うことのできる「おとぎの国」の開設や国内初のゴリラの4世代目の誕生など、全国に先駆けた様々な取組を行ってきた。</p> <p>しかし、施設の老朽化が著しく、環境保全や維持管理コストの面からも、新しい時代に適応した施設へのリニューアルが望まれているところである。</p> <p>こうした中、平成21年3月に「動物園大好き市民会議」を設置し、市民との協働による取組を進め、平成21年11月に共汗でつくる新「京都市動物園構想」を策定した。この構想に基づき、都心から近くて交通の便が良く、動物がお客様に近いという魅力を継承するとともに、これまでも増して環境エンリッチメントに取り組み、動物たちが幸せに暮らし、お客様も楽しい「近くて楽しい動物園」の実現を目指した施設整備を平成21年度から進めている。</p> <p>整備は、休園することなく段階的に実施し、平成27年度末には新たな都市型動物園として生まれ変わることを目指す。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>平成26年度は、ゾーンごとに以下の施設整備を推進する。</p> <p>1 「学習・利便施設」整備（平成27年春オープン予定）</p> <p>施設内容：改札，レストラン・ショップ，図書館，展示室，トイレ等</p> <p>2 「ゾウの森」整備（平成27年春オープン予定）</p> <p>展示動物：アジアゾウ（海外導入個体を含めた計5頭を飼育予定）</p> <p>3 「京都の森」整備（平成27年夏オープン予定）</p> <p>展示動物：シカ，タカ，フクロウ，リス，タヌキ，キツネ等</p> <p>4 ラオス人民民主共和国からのゾウ4頭の受入れ</p> <p>オス1頭，メス3頭を導入し，平成27年春に「子ゾウのお披露目式」を行う予定</p> <p>5 その他</p> <p>「学習・利便施設」及び「京都の森」の整備に係る設計業務については，平成25年度に完了した。また，平成25年度に整備を行った「ゴリラ舎」（仮称）については，平成26年5月にオープンする予定である。</p> <p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p> <p>平成25年度にオープンした施設については，別紙のとおり</p>			

共汗でつくる

新「京都市動物園構想」



平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	二条城東側空間整備事業		
予算額	9,900千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	元離宮二条城事務所(841-0096)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>現在、二条城東側空間は、観光バスや乗用車の駐車場、二条城の出札及び改札等があり、二条城に来城される観光客のメインアプローチとして機能している。さらに、南北に設置された歩道は市民の生活道路としても利用されており、歩行者、自転車や市民ランナーの通行も多い。</p> <p>こうした中、東側空間南側に駐車する観光バスが、御池通からの景観を阻害しており、世界遺産の玄関口として相応しい景観が確保できていない。また、来城者、タクシーや駐車場に入庫する車両等の動線が交錯するとともに、入城券購入待ちの行列や修学旅行生をはじめ来城者が溜まるスペースがなく、歩道にはみ出すなどしており、安全上問題がある。</p> <p>【事業概要】</p> <p>東大手門と東南隅<small>すみやぐら</small>櫓など、<u>威厳のある世界遺産に相応しい二条城の景観を確保するとともに、来城者や市民（歩行者、ランナー、自転車）、駐車場を利用する車両にとって快適で安心安全な環境を提供することを目的に、二条城東側空間の再整備を3箇年計画で行う。</u></p> <p>平成26年度においては、整備基本計画を策定するとともに、<u>基本設計に着手する</u>予定である。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	府市協調で進めるスポーツ施設整備 西京極総合運動公園の計画的改修		
予 算 額	21,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室（366-0168）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 広域的な大規模スポーツ施設整備の推進を図るため、横大路運動公園，西京極総合運動公園及び三川合流地域等におけるスポーツ施設整備については，府市協調により取組を進めていくこととしている。</p> <p>西京極総合運動公園については，府内随一の広域・基幹的施設として，各種大規模大会にふさわしい機能・水準の維持，向上を図るため，陸上競技場兼球技場の大型映像装置，管理諸室・トイレ，照明設備，観覧席屋根の整備等を行う。</p> <p>【事業概要】 平成26年度は，陸上競技場兼球技場の管理諸室・トイレ，照明設備，観覧席屋根等の整備のための基本設計に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理諸室・トイレの機能向上，照明設備更新，観覧席屋根設置等に係る基本設計 			
<p>【参 考】</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	府市協調で進めるスポーツ施設整備 横大路運動公園の再整備・防災機能強化		
予 算 額	70,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室（366-0168）		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 広域的な大規模スポーツ施設整備の推進を図るため、横大路運動公園，西京極総合運動公園及び三川合流地域等におけるスポーツ施設整備については，府市協調により取組を進めていくこととしている。</p> <p>横大路運動公園については，災害時の広域防災拠点としての機能付加を含め，京都府下の運動公園として準広域・準基幹的な利用が図れるよう，硬式野球場（防災備蓄倉庫を含む。）や多目的グラウンド，園路，駐車場の整備など，公園施設の再整備を行う。</p> <p>[事業概要] 平成26年度は，公園施設の再整備のための基本設計，地質調査等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 硬式野球場（防災備蓄倉庫を含む。），多目的グラウンド，園路，駐車場等の再整備に係る基本設計 ・ 地質調査等 			
<p>[参 考]</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	宝が池公園体育館(仮称)整備に係る基本設計等		
予 算 額	25,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室 (366-0168)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 本市には、国際競技のできるハンナリーズアリーナ（京都市体育館）のほか、武道センター、横大路運動公園体育館及び地域体育館18館、計21館の体育館があり、いずれも高い稼働率で市民に御利用いただいている。 こうした中、宝が池公園球技場南側の本市の遊休地を候補地として、平成25年度に実施した「宝が池公園体育館（仮称）整備に係る基本調査」を踏まえ、引き続き同体育館の早期完成に向けた取組を進める。</p> <p>【事業概要】 宝が池公園球技場南側の候補地における「宝が池公園体育館（仮称）」の整備に向け、平成25年度に実施した基本調査を踏まえ、同候補地の測量及び地質調査のほか、<u>施設の基本設計及び実施設計に着手する。</u></p> <p><整備スケジュール> 26～27年度 測量，地質調査，基本設計，実施設計 28～29年度 整備</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	宝が池公園球技場夜間照明設備の整備		
予 算 額	73,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民スポーツ振興室（366-0168）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 宝が池公園球技場は、京都国体に合わせて昭和62年5月に整備したものである。平成17年9月に天然芝を人工芝に改修し、それ以降は年間を通じて利用することが可能となったことから、ラグビー、サッカー、アメリカンフットボール、ラクロス等の試合会場や練習場として高い稼働率で利用されており、社会人チームや大学の大会等も数多く開催されている。</p> <p>夜間照明設備のある、夜間利用が可能な既存の本市球技場及び多目的グラウンドは、西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場、吉祥院公園、下鳥羽公園及び伏見桃山城運動公園に限られており、いずれも高い稼働率であること、また市北東部には夜間利用が可能な施設がないことから、本球技場に夜間照明設備を整備する。</p> <p>〔事業概要〕 夜間練習等に対応した照明設備を整備する。</p> <p>なお、整備に当たっては、周辺地域が第2種風致地区であること及び本球技場の北側に位置する五山の送り火の一つである「妙」の眺望景観の保全を踏まえた高さ、配置、形状等とする。</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕 本球技場に夜間照明設備を整備することにより、市民が身近にスポーツを親しむ環境整備を図ることができ、市民スポーツの振興に大きく寄与するものである。</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都マラソン		
予算額	425,000千円	新規・継続の別	継続
	(政策枠 75,000千円 局配分 350,000千円)	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠・局配分枠
担当課	市民スポーツ振興室 (366-0314)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>「京都シティハーフマラソン」の参加者を中心とした多くのランナーや陸上関係者からの要望を受け、京都初のフルマラソンである「京都マラソン2012」を平成24年3月11日に開催した。</p> <p>第4回大会となる「京都マラソン2015」においては、京都マラソンを、スポーツをする人、見る人、支える人にとって、より一層魅力的な大会とするため、河原町通や丸太町通などの「まちなか」や京都府立植物園を取り入れるなどのコース変更を行う。</p> <p>これにより、京都マラソンに対する市民理解が進み、継続的な事業として更に発展するとともに、将来にわたって更に多くの入浴者が見込め、経済波及効果の向上及びそれに伴う市税増収効果が期待できるなど、本市に対するメリットが大きいと考えている。</p> <p>○ コース変更の理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域コミュニティの更なる活性化 まちなかで開催することにより、多くの沿道応援者、ボランティアの参加が期待できることから、走る人、応援する人、支える人、それぞれが主役となる大会として、更なる盛り上がりが見込める。 2 都市型マラソンとしての魅力UP 7つの世界文化遺産や送り火の五山などの歴史的景観を楽しむコースを維持しつつ、優れた都市景観をコースに加えることにより、京都の魅力を国内外に発信できるコースとなる。 3 より走りやすいコース設定 現コースは豊かな自然があり、市街地を一望できるすばらしい景観を楽しめるスポットがあるものの、コースの急勾配がランナーの体力を急激に消耗させるため、「まちなかコース」を取り入れることでランナーの負担を軽減し、幅広い層が参加できる大会として運営することができる。 <p>〔事業概要〕</p> <p>「京都マラソン2015」においてコース変更を行う予定であり、予算額425,000千円のうち、<u>75,000千円がこのコース変更に係る経費である。</u></p> <p>○ 予算額425,000千円に対して、特定財源として企業からの協賛金(226,000千円)、寄付金等(73,000千円)の歳入を見込んでおり、<u>実質市負担予算額は126,000千円である。</u></p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 他都市（東京、大阪、名古屋、神戸等）においても、ほぼ同時期から市民参加型フルマラソンを実施している。 歴史や文化等、京都の持つ魅力を活かしたマラソン大会を開催することにより、ランナーはもちろんのこと、その家族や友人など、国内外から多くの来訪者が見込まれる。大会に参加するランナー、大会を支えるスタッフ・ボランティア、沿道の応援者を合わせて、約50万人の方が参加し、京都市内における経済波及効果は、京都マラソン2012においては、総額で約40億8,300万円、市税増収効果は約1億円、京都マラソン2013においては、総額で約35億4,600万円、市税増収効果は約8,700万円と推計している。 			